

夕張市水道の現状と課題について

日頃より、夕張市の水道事業にご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、夕張市の水道の現状と課題について、当月号広報より市民の皆様にお伝えしたいと考えています。

つきましては、この広報をご一読され、ご理解くださいますようよろしくお願いいたします。

1. 夕張市水道について

日常生活に欠かすことのできない水道水は、ダムでせき止めた川の水を浄水場できれいにして飲み水を

作り、「配水池」「ポンプ場」「水道管」などの施設を使って、毎日欠かさず皆様のご家庭まで給水しています。（浄水場とは、飲み水を作る工場です。配水池とは、飲み水を貯める地下プールのようなものです。）

夕張市の場合、北側地域（本町～平和、富野）は「旭町浄水場」から、南側地域（清水沢～紅葉山、南部）は「清水沢浄水場」から、それぞれ飲み水を送っています。しかし、給水を始めてから既に80年以上が経過して施設は古くなっており、旭町浄水場を始めとする多くの施設は、今後次々と建て替えや取り替えが必要な時期を迎えます。



2. なぜ水道施設を新しくするのですか？

水道施設は年月が経って古くなると機械の調子が悪くなり、やがて故障（断水）してしまいますが、皆さんの生活を支える重要な施設なので、断水の原因になる機械の不具合を放っておけません。

特に、水道施設の中で最も重要な「旭町浄水場」と「清水沢浄水場」が故障すると、飲み水が作れず給水が完全にストップするので、古くなった2つの浄水場の建て替えは、夕張市が一番に優先して取り組まなくてはなりません。

3. 今後の対応について

水道事業とは、市民の皆様から頂く水道料金を使って、水道施設を修理したり、古くなった機械を取り替えて、いつでも水道水を使えるようにする仕事です。

今までは、壊れた機械の中から部品を外して他に使い回したり、少しの故障であれば修理を我慢するなど、限られた予算の中でお金を掛けないように努力してきたので、平成元年度の料金改定を最後に、20年以上値上げをしてきませんでした。しかし、最近は故障が多くなり、こうした努力もいよいよ限界となってきました。

新しい浄水場を作ったり、古い機械を取り替えるため、水道料金（収入）と、建替修理費や運転費（支出）のバランスを考えながら、水道料金改定について市民の皆様のご理解を頂きながら、今後慎重に検討を進めてまいります。

今後の広報では、2月号（更新整備の必要性、内容など）、3月号（今後の財源など）について皆様にお知らせします。